

理事長・学校長殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

理事長 福田 益和

公
印
省
略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

令和6年度 中堅教職員研修会

「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」
「教職員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教職員育成研修）」
「新任指導力（メンタリング）」
「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」
開催のご案内

平素より本財団事業に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本財団では、専修学校制度発足以来、独自のカリキュラムに基づき「新任教員研修」を実施し、専修学校における新任教職員の資質向上に努めて参りました。

また、平成24年度より、文部科学省の教育研修活動費補助事業の一環として、「中堅教職員研修カリキュラム」の研究・開発を進めております。これは、新任教員研修カリキュラム修了程度の能力を有する方等を対象に、専修学校教育において、後進の指導等を含め、専修学校教育の振興に尽力することが期待される中核的・専門的な役割を担う中堅教職員の育成を目的としたものです(カリキュラムの考え方及び構成に関しましては、7ページをご参照ください)。今年度は中堅教職員研修会全8科目のうち、以下の4科目を開催します。

- 学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）
- 教職員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教職員育成研修）
- 新任指導力（メンタリング）
- 体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）

各科目の詳細については3～6ページをご参照いただき、参加を希望される方は2ページにありますGoogleフォームより**7月5日（金）まで**にお申し込みください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。また、満席時には、当財団ホームページ上でお知らせいたします。

[お問い合わせ]

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称：TCE財団>

(Association for Technical and Career Education)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館

TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688

令和6年度 中堅教職員研修会 実施要項

【主催】 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）

【科目名】 ○ 学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）
○ 教職員のキャリアデザインワークショップ
（これからの専修学校を担う自立型教職員育成研修）
○ 新任指導力（メンタリング）
○ 体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）
各科目の詳細については、3～6ページをご確認ください。

【対象】 専修学校の中堅教職員（目安：勤続5年程度以上）

【申込期日】 令和6年7月5日（金）

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。満席時には、当財団ホームページ上でお知らせいたします。

【申込方法】 各科目のお申込みはすべて、下記URLまたはQRコードより、Googleフォームからお申し込みください。

(<https://forms.gle/g5tCDsCTfoXiDRPk9>)



【お振込先】 受講料はお申込みいただいた学校名にて、受講日までに下記口座にお振込みください。
各科目の受講金額につきましては、3～6ページをご確認ください。

お振込先

みずほ銀行 九段支店（普通）2386904

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

（振込手数料は貴校にてご負担ください）

※研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。

※同一の学校や法人から受講者が複数名いる場合、受講料を合算してお振込みいただけます。

※受講料の返金は致しかねます。ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願いします。

※会員区分によって受講金額が異なります。開催案内が学校様へ書面で届いている場合、貴校は会員校です。

【修了基準】 各科目所定の研修時間を全て受講された方に、本財団より「修了証」を発行いたします。
教員の方々だけでなく、職員の方々もぜひご参加ください。

学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）

【内容・目的】

これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。

そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。

具体的には、小学校・中学校・高等学校の各学校現場で、クラス運営を効果的に行うための手法の一つとして「Q-Uアセスメント」というものが活用されている。Q-Uは、教職員が「①生徒個々の実態」「②学級集団の状態」「③個人と学級集団との関係」を十分に把握し、実態に応じた教育活動が展開できるように、その一助となることを目指したものである。近年、このQ-Uの専門学校版が開発され、実際に専門学校の現場でクラス運営の改善等に活用され、学生の「対人関係形成能力」や「社会形成能力」を育成する上で教育効果を上げている事例もある。本科目では、Q-Uの意義や理論、そして実践方法を学び、学生に対する教職員個々の指導力を向上させるとともに、校内での教職員間の連携を強化し、より効果的なクラス・学科運営が行えるようになることをねらいとする。

【定員】 24名

【日時】 令和6年7月25日（木）13:00～18:00

26日（金） 9:00～17:00（計12時間）

※2日目は、12:00～13:00は昼休み。昼食は各自でお取りください。

【会場】 東京・アルカディア市ヶ谷・6階伊吹

住所：東京都千代田区九段北4-2-25（JR市ヶ谷駅から徒歩2分）

【受講料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 13,500円

上記以外 1名 27,000円

【講師】 NPO日本教育カウンセラー協会 理事 藤川 章 氏

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡をメールでお送りします。事務連絡をご確認の上、研修会当日ご来場ください。

【タイムテーブル】

予定時間	予定内容
-1日目- 12:45 13:00	受付 ○ 学級経営とは ・学級経営とは ・Q-Uを活用した学級の分析と対応法 ・アドラー心理学から
18:00	○ 人間関係作り 1日終了
-2日目- 9:00	○ 人間関係作り ○ 個別カウンセリング ・自己理解を深める（エゴグラム・やりとり分析） ・カウンセリングの基本5法 ・ロールプレイングの実際
17:00	○ 事例研究 ・事例研究の意義とその方法 ・事例研究の実際 閉会

※タイムテーブルは事情により変更になる場合があります。

教職員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教職員育成研修）

【内容・目的】

学生のキャリア形成支援を行う専修学校教職員として、教科指導やクラス運営等を経験する中で、学生対応をより良きものとするために、更に教育指導力を高めようとする。そのような中、中堅教職員として、学科として行う職業教育全般の企画運営や学校運営全体のマネジメントを行う方向に進むか、或いは教育専門職としての進路を目指すか等、教職員自らのキャリアパスについて考える転機を迎えることになる。そのような時に備える意味で、自らが組織の中で更なる活躍の期待に応え、同時に、自らが主体的かつ自立的に将来設計を行い、学校と自分自身が共に成長するべくアクションプランニングを行う。

【定 員】 24名

【日 時】 令和6年7月31日（水） 11:00～19:30

8月 1日（木） 9:00～19:30

8月 2日（金） 9:00～17:00（計24時間）

※12:00～13:00は昼休み。昼食は各自でお取りください。

【会 場】 東京・アルカディア市ヶ谷・6階伊吹

住所：東京都千代田区九段北4-2-25（JR市ヶ谷駅から徒歩2分）

【受講料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 30,000円

上記以外 1名 60,000円

【講 師】 梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科 准教授 上浦 環 氏

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡と事前課題をメールでお送りします。事務連絡をご確認いただき、事前課題にご記入の上、研修会当日にご持参してご来場ください。

【タイムテーブル】

予定時間	予定内容
-1日目-	
10:45	受付
11:00	○ キャリアとは？ ○ キャリアデザインについて ○ 中堅教職員の立場と役割
19:30	1日目終了
-2日目-	
9:00	○ 自己のキャリアの棚卸し ○ 自己理解について ○ 自分のできることとやる気の根っこ
19:30	2日目終了
-3日目-	
9:00	○ キャリアビジョンシートについて ○ 環境分析について ○ これからの自分を考える ○ 今後のキャリアビジョンと具体的な行動プランの考察・発表
17:00	閉会

※タイムテーブルは事情により変更になる場合があります。

新任指導力（メンタリング）

【内容・目的】

新任指導能力「新任教職員の指導・育成力を高める」ことを目標とする。中堅教職員（管理職）にとっての役割とは何かを知り、新任（部下）の指導育成のための目標管理や新任（部下）の能力・メンバーシップを引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指す。

具体的には、新任指導育成のための目標管理力／新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつけることを目指す。

【定 員】 24名

【日 時】 令和6年8月 8日（木）13:00～18:00
9日（金） 9:00～17:00（計12時間）

※2日目の12:00～13:00は昼休み。昼食は各自でお取りください。

【会 場】 東京・アルカディア市ヶ谷・6階伊吹
住所：東京都千代田区九段北4-2-25（JR市ヶ谷駅から徒歩2分）

【受 講 料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 13,500円
上記以外 1名 27,000円

【講 師】 株式会社ウェルネス研究所
代表取締役 青木 慶子 氏

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡と事前課題をメールでお送りします。事務連絡をご確認いただき、事前課題にご記入の上、研修会当日にご持参してご来場ください。

【タイムテーブル】

予定時間	予定内容
- 1日目 - 12:45 13:00	受付 ○ メンタリングとは？ ○ メンターに求められるもの ○ メンターの在り方 ○ メンタリングの4つの基本的技術
18:00	1日目終了
- 2日目 - 9:00	○ 1日目の振り返り ○ 総合演習 ○ 今回の学びを新任指導で生かすために
17:00	閉会

※タイムテーブルは事情により変更になる場合があります。

体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）

【内容・目的】

より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン（ID）がある。このIDとは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようになるのが本科目の目標である。

【定 員】 24名

【日 時】 令和6年8月30日（金）9：00～17：00（計7時間）※1時間は昼休み。

なお、事前に5時間分のオンデマンド学習をご案内しますので、上記研修会ご受講前に、各自ご視聴ください。

【開催形式】 オンライン

【受講料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 13,500円

上記以外 1名 27,000円

※別途、教材購入費がかかります。

【講師】 株式会社ウチダ人材開発センタ

事業推進 ラーニング推進部 インストラクション課

課長 日暮 薫 氏

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡をメールでお送りします。教材（稲垣忠・鈴木克明著『授業設計マニュアル Ver.2：教師のためのインストラクショナルデザイン』北大路書房）を購入しご一読ください。また、オンデマンド学習（5時間分）と8月30日開催のオンライン（6時間）についての詳細も事務連絡でご案内いたしますのでご確認ください。

【タイムテーブル】

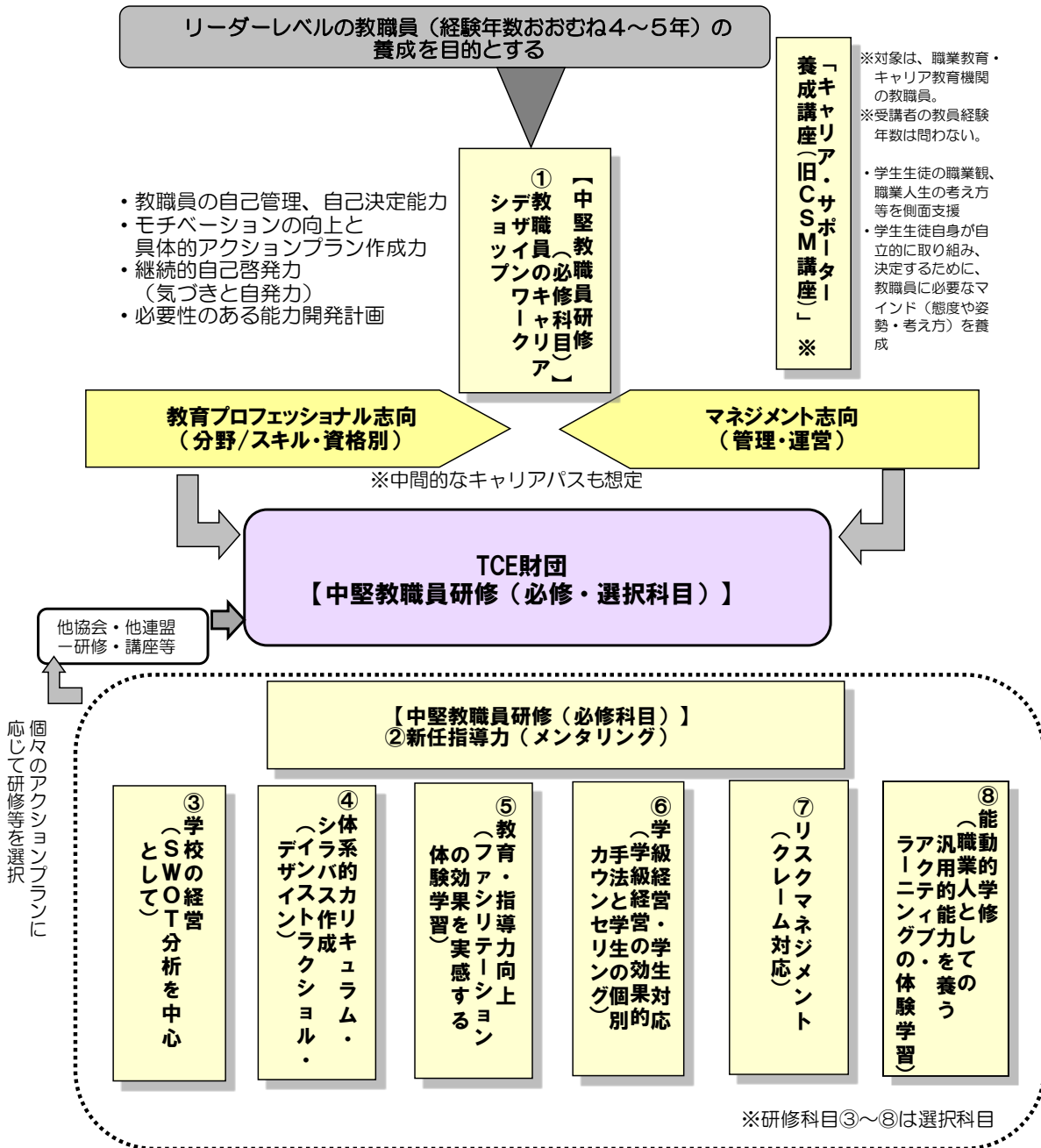
予定時間	予定内容
-オンデマンド- ※5時間分を事前 にご受講ください	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ○ 事前テスト ○ インストラクショナルデザインの概要と必要性 ○ 学習目標の明確化 ○ 課題分析 ○ シラバスの作成 ○ コマシラバス（授業計画）の作成
-8月30日- (オンライン) 8：45 9：00	受付 開講 <ul style="list-style-type: none"> ○ 理論編の復習、質問 ○ 作成物の共有とグループワーク ○ まとめ・質疑応答 ○ 事後テスト
17：00	閉会

※タイムテーブルは事情により変更なる場合があります。

TCE財団 中堅教職員研修 カリキュラムの内容

考え方と構成

- (1) 中堅教職員研修は、「①教職員のキャリアデザインワークショップ（必修科目）」をベースとして、キャリアビジョン及び自ら作成するアクションプランに基づくコアとなる研修科目②～⑧（必修＝②・選択必修＝③～⑧）を用意。
- (2) ①～⑧の8科目以外に、他の団体・組織主催の研修を含め、各教員のキャリア・就業年数等に応じた研修の受講（継続的能力開発）を奨励する。



7科目受講された方への研修成果のインタビュー

中堅教員研修会全7科目（平成29年度時点）を修了された4名に対し、研修成果のインタビューを行った。4名のプロフィール概要は以下のとおり。

修了者	学校分野	性別	年齢	学校勤続年数
A	商業実務	男	48	3年
B	医療	男	43	7年
C	医療	女	38	10年
D	医療	男	38	7年

～気付きと行動変化はありましたか？～

- 学校全体のことや若手職員の育成という点について、受講前よりも意識して行動するようになりました。特に「考えるだけでなく行動する」ということをモットーにし、若手職員のお手本となることはもちろんですが、ベテラン職員の方々からも信頼されるように行動しています。
- 教員としての職務（教育）だけでなく、教員としてどのようなキャリアを歩んでいくかを考える契機となりました。また、自身が与えられた職務をどのような考えで進めて行くかを多元的に考えられるようになりました。
- まず、授業内のグループワークや、個人で参加する研修においては「ファシリテーション」を意識します。また、受講させていただきました「インストラクショナルデザイン」は、次年度のシラバス提出時に生かして見直しを考えております。また、私は防火管理者であることもあり、「リスクマネジメント」について意識することも、同僚に伝える機会も多いように感じます。その他の教科につきましても、テキストを見直したり、用語の確認を行ったりする機会があります。意識面では「キャリアデザインワークショップ」で感じた自身の決意を思い起こすこともあり、貴重な機会であったと認識しております。しかし、日常の雑事に取り紛れて希薄になる瞬間や、浅い知識にとどまり定着していないもどかしさを感じることもありますので継続学習の機会をいただきたいと思います。
- 教職員の面談の際に、今まで以上に「質問・傾聴・観察・伝達」を意識して行うよう、努めてきました。また、質問や伝達といったこちらから発する内容も本研修で学んだものから相談内容に適したものを抽出するように努めました。相手の立場を考慮した上で発言し、相手に答えを導き出させるような対応を自然にできてきたと思っています。個人的には、仕事全体の視野が広がり、専門学校の教職員としての在り方がおぼろげながらも見えてきたような感覚でいます。

～今後、中堅教職員研修会を受講される方へのメッセージ～

- 理解しやすいプログラムもあれば、なかなかすぐには理解できないものもあると思いますが、必ず役に立つ時が来ると信じて受講してほしいと思います。また、様々な専門学校の先生方と交流することで、悩みを共有したり解決の糸口を見い出すことができたり、それだけでも研修に参加して良かったと思うことができます。壁にぶつかって悩んでいる方やスキルアップを目指す方にはとてもすばらしいプログラムになっていると思います。ぜひ全てのプログラムのコンプリートを目指して頑張ってください。
- 中堅教員研修は間違いなく大きな収穫を得られる講座となります。一つ一つを大切に受講されることで確実に成長していけると思います。
- 全ての研修を受講して思うことは、どの専門学校でも抱える問題点・課題点を冷静に振り返り分析できる機会をいただいたのだなということです。研修は元より他校の先生方と利害関係なく率直に意見や情報の交換ができたことも大変有意義でした。